

科研製薬オンラインセミナー

～大阪SJCDが贈る～三位一体(歯科医師・
歯科衛生士・歯科技工士)で臨む歯周病治療

本オンラインセミナーでは歯周病治療に関する最新の話題をご紹介します。

Live
配信

日時:偶数月 第3週水曜日 20:00~21:30

座長・総括コメント 大森歯科医院 大森 有樹 先生



無料

<第一回> 2024.8.21

申込URL:

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_xJKyAYa1TMa9PoSf7q0BYw#/

「歯周病のコントロールは、炎症のコントロールと力のコントロール」

大森歯科医院
歯科医師

大森有樹 先生

中島歯科医院
歯科医師

中島美裕 先生

「力のリスク診断」

よしだ歯科
歯科医師

田中克樹 先生

<第二回> 2024.10.16

座長・総括コメント 大森 有樹 先生

「歯周外科がなぜ必要なのか? ~SRPと歯周外科との境界線~」

Yokoishi Dental Clinic
歯科医師

横石 和久 先生

「本質的で実践的なプラークコントロール~電動歯ブラシと

歯間ブラシの選択基準と使用法~」

タニオ歯科クリニック
歯科衛生士

丸山 葉子 先生

<第三回> 2024.12.18

座長・総括コメント 大森 有樹 先生

「動揺歯への対応 ~いつどうやって連結固定か否かをジャッジするか~」

藤尾歯科・矯正歯科
歯科医師

藤尾 隆史 先生

「歯周病患者に与える咬合面形態」

本多歯科医院
歯科技工士

新海 敦司 先生

<第四回> 2025.2.19

座長・総括コメント 大森 有樹 先生

「歯周病患者における矯正治療」

津田歯科・矯正歯科
歯科医師

津田 祐 先生

「歯周病・歯の動揺・欠損・病的歯牙移動を有する患者に対する、
複雑な補綴設計」

大森歯科医院
歯科医師

大森 有樹 先生

<第五回> 2025.4.16

座長・総括コメント 大森 有樹 先生

「清掃性の高い補綴装置形態」

ミナミ歯科クリニック
歯科技工士

嶋田 圭佑 先生

「炎症と力のメンテナンス」

本多歯科医院
歯科衛生士

矢野 未和 先生

共催:日本臨床歯科学会 科研製薬株式会社

参加方法のご案内・お願い

【登録方法】

下記URLまたは二次元コードより登録フォームにアクセスし、必要事項をご入力、送信ください。
定員人数に達しましたら受付を終了いたしますのでお早めにご登録ください。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_xJKyAYa1TMa9PoSf7q0BYw#/

※ 上記URLよりご登録ください

ご登録完了後、当日の参加用URLが送信されます。

(開催日1週間前、1日前、1時間前にはリマインドメールが届きます。)



【視聴方法】

登録完了メールまたはリマインドメールより、リンクをクリックしてご参加ください。

Zoomに参加する方法

1. PC、Mac、iPad、または Android から参加する

[ウェビナーに参加](#)

上記のボタンが機能しない場合は、このリンクをブラウザに貼り付けてください。

<https://us06web.zoom.us/j/839813559957>

<https://us06web.zoom.us/j/839813559957>

Zoomウェビナーに招待されています。

日時: 2021年11月4日 07:30 PM 大阪、札幌、東京

トピック: 再生療法WEBセミナー [手術手技×臨床成績] (科研製薬株式会社)

PC、Mac、iPad、iPhoneまたはAndroidデバイスから参加できます:

[ここをクリックして参加](#)

注: このリンクは他の人と共有しないでください。あなた専用のリンクです。

※本講演会はビデオ会議システム「Zoom」を使用します。

※当日はインターネット環境の整った場所でご視聴ください。

※ご質問は当日、Q&Aにて受付いたします。

※ご不明な点は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。

問い合わせ窓口

科研製薬株式会社 学術推進グループ 福田 幸弘 (フクダ ユキヒロ)

【TEL】080-5983-0837 【E-mail】fukuda_yukihiro@kaken.co.jp

Drug Information

●詳細は電子化された添付文書をご参照ください。電子化された添付文書の改訂に十分ご注意ください。

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

- 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.2 口腔内に悪性腫瘍のある患者又はその既往歴のある患者
[本剤が細胞増殖促進作用を有するため]

4. 効能又は効果

歯周炎による歯槽骨の欠損

5. 効能又は効果に関連する注意

- 5.1 本剤は、歯周ポケットの深さが4mm以上、骨欠損の深さが3mm以上の垂直性骨欠損がある場合に使用すること。
- 5.2 本剤は、インプラント治療に関する有効性及び安全性は確立していない。
- 5.3 術後に歯肉弁の著しい陥凹を生じると予想される骨欠損部位に対しては、他の適切な治療法を考慮すること。

6. 用法及び用量

歯肉剝離掻爬手術時に歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。

7. 用法及び用量に関連する注意

本剤の使用にあたっては「17.臨床成績」の項を参照し適切な量を用いること。【17.1.2 参照】

8. 重要な基本的注意

本剤は歯周外科手術の経験のある歯科医師又は医師が使用すること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	1%以上	1%未満	頻度不明
* 適用部位および適用部位近傍			歯肉白色化、歯肉紅斑、腫脹、硬結、肥厚
精神神経系			頭痛
臨床検査	尿中アルブミン陽性、尿中NAG上昇、尿中β ₂ ミクログロブリン上昇	AST上昇、CRP上昇、ビリルビン上昇、CK上昇、ALT上昇、LDH上昇、尿糖陽性、リンパ球増多、好中球減少、総蛋白上昇	単球増多、白血球減少

21. 承認条件

医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。



歯周組織再生剤

トラフェルミン (遺伝子組換え) 製剤

リグロス 歯科用液キット 600 μ g / 1200 μ g

REGROTH Dental Kit 600 μ g / 1200 μ g

薬価基準収載

製造販売元
[文献請求先及び
問い合わせ先]



科研製薬株式会社

東京都文京区本駒込二丁目28番8号
医薬品情報サービス室

処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

*2024年1月改訂(第2版)